

natusobiku journal

Month 08

August 2018

Curtain, Rug, Cushion, Lighting,
Apron, Bedlinen, and more...
all natural. feel cozy life!

「natusobiku journal」は日々の活動内容や想い、心地よい暮らしづくりのためのヒントをパートナーの皆様へお伝えするための情報誌です。

Featured this month

群馬県みどり市
K様邸 平屋住宅

アヤ 02 裏葉 1.5倍プリーツ



別室の大開口には色違いのアヤ03 灰桜をコーディネート。色選びには濃茶色の壁面収納との相性も考慮しました。

和風家屋ならではの縁側には広々とした窓が残ります。新築住宅では少なくなった、日本ならではの様式は室内と屋外の間のような、独特な存在感の空間です。今回、平屋住宅のリフォームで選んだのは天然繊維の麻のカーテン。素材の持つ豊かな表情が陽の光を受け

て穏やかに浮かび上がります。ツイル織りのリネン生地“アヤ”は大人の女性のカラーを体現した新しいカラーを備えました。上品で光沢感のある見た目は、シンプルな平織り生地とはまた違った魅力を持ち、ヴィンテージ感のある家屋に馴染んでいます。

MONTHLY CONTENTS

伝えたいこと

Note

■ キリカエカーテンのアイデア

natusobikuの麻の生地で作るキリカエカーテン。2種類以上の生地を縫い合わせることでシンプルな麻の素材感に意匠性を加えることができるため、インテリアコーディネーターのお客様に非常に人気のスタイルカーテンです。今回は最近製作したキリカエの事例をご紹介します。まずは2色使いのカフェカーテンです。(左上) アメツチ10 雪+アメツチ11 山吹を、上下半分の比率にしています。



トップボダーの2色使い、生成と夜空色のメリハリのある配色で上部はハトメを直接ポールに通すアイレットスタイルです。(右上) いまやnatusobikuの定番ともいえるスズカゼの3色使い。室内で間仕切りとして使用しました。面積が大きいため白色部分の比率

を大きくすることで、見た目の圧迫感を抑えています。(左下) キリカエスタイルはアイデア次第で、窓装飾がますます個性的で素敵なものとなります。組み合わせは自由、まずはご相談ください。

EVENT

■ 作品展のお知らせ

群馬県みどり市にある「Cafe&Galleryねこの時計」さまの企画展に出展させていただきます。“涼を飾る”をテーマにこの夏の暮らしを彩る「絵」「布」「緑」それぞれの作家が作品を寄せ合います。natusobikuの縫製スタッフとして協力していただいた縁があり、同じ千葉県から水彩イラスト作家 ハモニコ絵本 さんも参加します。natusobikuは麻のガーゼカーテンや草木染めのアクセサリ、柿渋染めエプロンなど、暮らしを着飾るリネンの布作品を展示します。



夏休みシーズンのこの時期、自然豊かなカフェに是非、足を運んでみてください。 「涼を飾る」展示期間：7月27日 - 8月26日

群馬県みどり市大間々町塩原1522-7 Cafe&Gallery ねこの時計

Information

本誌「夏そびくジャーナル」のバックナンバーをご覧ください。

<http://www.natusobiku.jp/journal>

当社 HP に掲載をご希望のショップさまはお知らせください。現在、取り扱い店さまのご紹介ページのリニューアルを予定しております。

<http://www.natusobiku.jp/store>

デザイナーってというのは、ゼロからつくるのではなく、いろいろな人と出会う中で発見、体験することを自分なりに解釈すればいいのだと体感的に分かったインテリアでも建築でも、材料は大手メーカーの品番から選ぶことが多い。しかし、それ以外に面白いものが世の中にはたくさんある。それはやはり自分で求めていかないと見つからない。 —デザイナー橋本夕紀夫さんが「橋本夕紀夫が考察する商空間デザインのカタチ」のなかで

Cotowari Design Inc. 千葉県千葉市緑区誉田町1-297-3

tel: 043(310)7975 fax: 043(310)7976 mail: info@cotowari-design.com

■事業内容 天然繊維のファブリック企画・製作・販売 / インテリアコーディネート/テキスタイル・広告デザイン制作